

## 馬場正尊のヒーロー

アンディ・ウォーホル (Andy Warhol) 1928-1987

言わずと知れたポップアート界のスーパースター。The Factory と呼ばれるアトリエで、アートと出来事を大量生産した。そこはルー・リードやカボーティなどさまざまな分野のクリエーターから、ただのゲイまで、わけのわからない奴らが夜な夜なフラッピ集まっていたらしい。その存在自体がスキャンダラスで 60 年代の NY の文化を象徴していた。僕が生まれた 1968 年に、ウォーホルは The Factory で「全男性抹殺団 (S.C.U.M. /Society for Cutting Up Men)」のメンバーだったバリー・ソラナスという女性に狙撃され、この場所の歴史に幕が下りる。



### 物件探し

発見されたのは、なんと吉阪隆正<sup>\*1</sup>が設計してのではないかと思われる(確認中)倉庫。異様な妖氣を放っている。何に使われていたのかさえよくわからない。謎に包まれた物件。でもこの企画、The Factory には似つかわしい。僕らは、本気でこの空間が新しいクリエイティブの拠点になるのではないかと考えている。興味のある方、ぜひご一報を！

<sup>\*1</sup> 吉阪隆正 (よしざわたかまさ) 1917~1980

日本を代表する建築家。早稲田大学卒業後、1952 年フランスに留学し、ル・コルビュジエのアトリエに勤務。1957 年ベニスビエンナーレの日本館設計で芸術選奨賞。実は登山家・探検家としても有名。



### リノベーションプラン

居住部分は、大空間にベッドとシャワーとバスタブが転がっていればそれだけでいい。体育馆のようなリビングはアルミフィルで覆われ、ソファとライトが転がっていればいい。上階には目的のわからない棚が並んでいるが、そえがまるで現代美術のようだ。寝たいやつは、そこで寝て行けばいい。ドミトリーみたいなものか。

2010 年代の東京におけるクリエイティブの解放区。役所も用途変更がどうのこうのとか、言わないで欲しいな（妄想プロジェクトだから、言ってみました）。新しいことはこんな場所から生まれるのだから。なんだか今の東京はがんじがらめで息苦しい。

